

③近畿河川技術伝承会と共働で取り組む 不具合堤防を用いた点検技術向上講習

受賞機関 国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所

キーワード 伝承会、不具合堤防、技術力の伝承、点検技術力の向上

全建賞審査委員会の評価ポイント

河川の堤防に発生する様々な変状を再現した全国初の「研修用の不具合堤防」の整備。シミュレーション化に研究が進む中、逆に、不具合堤防をわざと作ってその動きを実験するなどこれまでにない取組である点や、河川技術を伝承する堤防点検講習を実施している点が評価された。

1. はじめに

近畿技術事務所では、近畿河川技術伝承会（以下、伝承会という）と共働で河川管理施設の点検や点検結果の評価を行う技術者の育成を目的とした講習を実施している。

なお、伝承会とは、近畿地方整備局に在職経験のある河川技術者が培ってきた技術や貴重な経験をもとに平成12年度から研修講師や講演、意見交換、アドバイスなどの活動を行っている団体である。

2. 事業の概要

講習は、全国に先駆けて平成26年度に整備した不具合堤防を研修教材として活用している。



研修用の不具合堤防

なお、伝承会には不具合堤防の計画時点からアドバイスを頂き、代表的な堤防の変状である、亀裂、陥没、基礎部洗掘、樋門の抜け上がりなど31種類、73個の変状を再現した施設を整備するとともに、技術的な経験をもとにした点検マニュアルも整備した。それらをもとに平成27年度より講習を実施しており、これまでに地方整備局職員以外にも地方公共団体等の職員を対象に実施し、延べ約750人が受講した。

3. 事業の成果

不具合堤防を活用した講習では、河川管理者として河川管理施設を適切に管理していくための技術力を養成するため、点検技術に加えて、不具合が発生する要因等も説明し、実際の河川管理に活用できるよう工夫している。

講習会の参加者からは不具合の再現性への評価とともに、変状箇所に加え全体を見て判断することの重要性、点検時の評価基準も実物を見ながらの説明で判りやすいなど、実物大の堤防を活用した研修ならではの評価を頂いている。

また、実経験にもとづく伝承会会員の説明は、現場経験の少ない職員の心に響く言葉であり、

貴重な実体験となっている。



不具合堤防での講習状況

4. おわりに

いま、河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」が進められている。河川管理に携わる職員には、河川管理施設を良好な状態で管理するための技術力が求められており、技術力の継承は必須の課題である。今後も不具合堤防を活用し、伝承会の皆様とともに点検技術力の向上と技術の継承に努める所存である。

文末とはなりましたが、これまで御指導いただいている伝承会会員の皆様には、心より感謝致します。